

<ガールアップセミナーとは>

- ・ドーン財団主催の女子高校生達が自分らしい人生を選択・決定していくことを応援するために開催されたセミナーに、社会人サポーターとして参加しました。
- ・自分らしい生き方や進路選択、他者とのコミュニケーション等について、ワークや参加者同士の交流を通じて共に学び考えました。

<概要>

事業名 : 「女子高校生のためのサマースクール
ガールアップセミナー2021」
開催日時 : 2021年8月6日(金) 10時00分～16時00分
開催場所 : ドーンセンター (大阪府大阪市)
対象 : 女子高校生 30人

<内容・次第>

- ・「To All Girls!」アリア・エドワーズさんからのビデオメッセージ
(駐大阪・神戸米国総領事館 広報担当領事)
- ・「世の中に渦巻くジェンダーバイアスについて」
～ジェンダーバイアスをどう乗り越え、自分らしく生きていか～
- ・「自分らしくいるために必要なこと」
～他国から学ぶ女性のライフコース～
～自分らしくいるために必要な10のコト プラス1を考えてみよう～

ファシリテーター : 乙倉 恵子
(公認心理師・キャリアコンサルタント)

グループワーク



発表



<ガールアップセミナーに社会人サポーターとして参加した感想>

高校生の皆さんが、今後の将来を考えるヒントになるよう社会人サポーターとして参加をさせていただきました。

ジェンダーバイアスについて高校生と話すなかで、時代が違うこともありますが、柔軟な考えを持っていて驚きました。大人である私の方がジェンダーバイアスだけでなく様々な「固定観念」に縛られて生きていることに気が付き、改めて“自分らしさ”を考える機会になりました。

セミナーの最後は、自分らしくいるために必要なことを全員発表しました。それぞれがセミナーを通じ、自分らしくいるために必要なことを真剣に考えており、これから社会に出たり、ライフスタイルの変化等で、壁にぶつかったときに忘れないでほしいと思いました。

今回、私の経験や人生・キャリアの選択について少しでも何か伝えることができたら良いなと思っておりましたが、一緒になって“学び”や“自分らしさ”を発見させてもらいました。私自身、1歳の娘がいて、仕事と家庭についてまだまだ悩みはつきないですがセミナーで学んだことを忘れず、ガールズの将来に少しでも明るい未来を作り出せるように自分らしく頑張っていこうと思いました。

(日本生命保険相互会社 宮前 素代)

2021.08.06.7 ガールアップセミナーへ社会人サポーターとして参加

■女子高校生が、自分らしい生き方や進路選択、他者とのコミュニケーション等について、ワークや参加者同士の交流を通じて共に学び考え、自分らしく生きていくことを応援する目的で開催するセミナーへ社会人サポーターとして参加。

<概要>

1 事業名：

「女子高生のためのサマースクールガールアップセミナー2021」
(ドーン財団 主催)

2 開催日時：2021年08月6日(金)・7日(土)
全2回 10時00分～16時00分

3 開催場所：ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)

4 対象：女子高校生 50名程度



<内容・次第>

6日・「To All Girls!～自分らしさってなんだろう～」ビデオメッセージ
アリシア・エドワーズ氏(駐大阪・神戸米国総領事館 広報担当領事)

・「オーストラリアから見た、さまざまな女性のライフコース」
講師：ローラ・デールズ氏(西オーストラリア州立大学准教授)

7日・「思い描こう私たちのミライ」
講師：古川知子氏(神戸親和女子大学 教授)

・「女性の活躍を阻害する要因」
講師：仁科あゆ美氏(大阪府男女共同参画推進財団 理事・本部長)

ファシリテーター：乙倉 恵子(公認心理師・キャリアコンサルタント)



<ガールアップセミナーに社会人サポーターとして参加した感想>

高校生の皆さんが、自分らしい将来を考えるヒントを見つけるセミナーに社会人サポーターとして参加をさせていただきました。「自分らしくいるための10のコト」や「思い描こう私たちのミライ」などグループワークを通して今の高校生が思い描いているミライと漠然とした不安を言葉に出して私達社会人と共に想像し、話し合う機会を持ちました。参加されていた高校生は皆、とてもしっかりされている反面、もっと大人とフラットに話す機会を持ちたいと思ってくれている事に心を打たれました。自分らしさを大切に生きていきたいと願う若い力に、彼女たちが社会に出た際に、今の現代社会が抱える性による壁がない社会になるように私も努力をしていきたいと思いました。(株式会社 コンシェルジュ 植村知佐子)